



石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8911

<http://www.hiro-ishikawa.jp/> 石川ひろのり



コロナ禍の学校選択充実のために。 文教常任委員会での主な質疑

現在、県議会は第3回定例会が開催されています。所属する文教常任委員会において入学後の生徒と学校のミスマッチを少しでもなくしたいとの思いで「コロナ禍における学校説明会等」について、中学校における「オンライン授業が出席扱いにならないこと」における県立高校受検に対する不安等について質疑を行いました。

オンライン授業が出席扱いにならないことについて

石川 中学3年生の子どもを持つ保護者の方から、コロナ等に対する不安から登校をせずオンライン授業を受けているが、**オンライン授業は出席扱いにならないと聞き、県立高校受検の不利益になってしまうのではないかとのご相談があった。**県教育委員会としての対応を伺う。

教育監 ご指摘のコロナによってやむを得ず欠席をしなくてはいけない生徒、コロナの感染を恐れて欠席をする生徒については、欠席扱いとせず、校長が出席しなくてもよいと認めた人とすることと、各市町村教育委員会に周知するよう伝えている。また、高等学校入学者選抜への配慮の一つとして、都道府県によっては調査書の中に出欠席欄が設けてある場合がある。そうした場合も、国において特定の入学志願者が不利益を被ることがないようにと通知をしており、周知も図っている。本県については、様式などは既に中学生、保護者等に示しているが、**本県の調査書には欠席欄、出席数、欠席数の欄はない。その点は安心してほしい。**

県立高校の学校説明会について

石川 昨年、コロナ禍で「全公立展」「公私合同学校説明会」が中止となり、私は「**入学後の生徒と学校のミスマッチを少しでもなくしたい**」との思いで、昨年6月の代表質問で県立学校のホームページに学校紹介動画の掲載を提案し、実施して頂いた。初めに今年の学校説明会の状況を伺う。

高校教育企画室長 「全公立展」「公私合同説明会」は、今年度もコロナ禍の影響で中止となっている。代わりに、例年全公立展で配布している高校ガイドブックの配布、公私合同学校紹介ポスターを作成し各中学校に送付している。このポスターから二次元コードで全ての学校のホームページにたどり着く案内をし、中学生が動画を見られる対応をしている。

石川 コロナの影響が見通せない中、今年も当初から紹介動画を各県立学校で掲載してほしいと要望し、7月末には全県立学校で掲載されたと報告を頂いた。この紹介動画内容を県教育委員会はどのようにチェックしているのか。

高校教育企画室長 8月上旬に1回、動画の状況について確認

をし、不十分な点は継続的に学校に対し改善を求めている。

石川 私も内容を確認したが、ある学校では、令和3年2月に実習棟が完成予定という昨年の学校紹介動画を活用している。県の事業として新まなび舎計画の中で建てた新棟は学校をPRする最大のチャンスであるのに活かされていない。他にも、音声が入っていない学校があるなど、県教育委員会としてチェックをすべき点だと考える。

高校教育企画室長 私どもが気づいた範囲で話をしている。今後、ご指摘の通りホームページ上で中学生、県民の方に学校の情報や魅力を伝える視点で、学校に取り組んでいただく形で考えている。

石川 すでに学校選択が始まっている時期である。受検生やその保護者の方々は、合同説明会はなくなり、各県立学校で開催される文化祭なども在校生やその保護者のみの参加となり、その学校の雰囲気を感じることができない。**私は学校紹介動画を掲載することのみを目的とするのではなく、その質の問題を提起している。**すでに内容を確認し終わってなくてはならない時期だからこそ、そのチェック体制を伺っている。

高校教育企画室長 ご指摘のとおり、**チェックし切れていない部分があったと思っている。今後、必要に応じて改善を図っていく。**

石川 コロナ禍においても**中学生がその進路選択をできるような充実した情報提供と、いち早い改善を図っていただくよう要望する。**

受検料の納付方法について

石川 受検料の納付方法について、昨年、ひとり親家庭や共働き世帯の方より、「休暇取得」や「時間調整が厳しい」と銀行窓口だけではなく、コンビニでも納付できるようにしてほしいとの要望を頂き、文教常任委員会の質疑の中で「研究」をしていくとの答弁があった。その後について伺う。

教育局財務課長 コンビニでの納付については、コンビニの手数料の問題、どのような形で受益者負担をしていくかということがネックになっており、現在検討中である。

石川 手数料を受検者側に求めることは難しいのか。

教育局財務課長 コンビニ側で、件数が一定程度ないと受けられないということもある。問題はそういうところですよ。

石川 私立高校ではコンビニで支払える学校がある。件数の問題で公立はできないとの説明は理解できない。公立高校の受検対象者はそんなに少ないのか。
教育局財務課長 コンビニ側との確認の問題もあるが、1万件以上ないと駄目と言われている。実際どのような形でできるか引き続き検討させていただく。

石川 1万件ないと駄目というのが、その対象が1万件なのか、実際に振込がなされるのが1万件なのか、1万件の中身が違う。再度確認をし、**休暇をとらなくても受検料を納付しやすい環境を整えるよう要望する。**

修学旅行について

石川 緊急事態宣言が解除となり、10月、11月に修学旅行を予定している高校、小中学校はどのくらいあるのか伺う。
高校教育課長 10月、11月実施予定という学校が非常に多い。しかし、8月の感染状況が極めて厳しかったということもあり、既に今の段階で**10月に修学旅行を予定していた学校につい**

ては、1校を除いて全てが延期を決めている。11月に予定をしている学校は41課程という状況となっている。
子ども教育支援課長 市町村立の小中学校については、これまでの間の予定をしていた学校が10月以降に延期をして調整していると承知をしているが、現在詳細については把握をしていない。

石川 高校に関しては、延期、また再度延期により開催時期についてはバラバラになると思うが、8月の感染状況やキャンセル料を考えると致し方ない部分はある。しかし、一般のツアー旅行では、コロナでキャンセルになったときの保険がある。その保険加入の検討と今後のコロナの状況にもよるが、**中止ではなくどのような場所、期間であれば開催出来るのかなど柔軟な対応を取るなど、県教育委員会としての修学旅行開催に向けた取組みを要望する。**

活動報告

川崎市教育委員会 教科書図書展示会

8月、麻生市民館で開催された「川崎市教育委員会 教科書図書展示会」を見学させていただきました。今年度は高等学校用の教科書見本が中心に展示されていました。自分の学生時と比べると、デザインやサイズなど大きく変化していると感じました。今後、GIGA スクール構想が進み、教科書のデジタル化についての議論も出始めています。それに伴う課題や問題点なども感じました。今後の質疑等に活かしていきます。



院展

9月、ご案内をいただき、東京都美術館で開催されている「院展」にお伺いしました。麻生区在住で日本を代表する日本画家 大矢紀先生の絵画が展示されています。今回大矢先生が出展された絵画は大きな牡丹が描かれた「富貴百花」。その美しいさと迫力に、ただただ圧倒されるばかりでした。今回も間近で多くの作品を鑑賞させて頂き、奥深い絵画の世界に魅了され、心を養う豊かな一日となりました。



汁守神社 神輿払い

9月、汁守神社の「神輿払い」にお伺いしました。毎年秋に行われている地域のお祭りは、残念ながらコロナ禍で昨年に引き続き中止となり、神事のみで開催となりました。この日の神事は、密にならないよう配慮されながら厳かに執り行われました。長年続いてきたこの地域の伝統行事が、来年こそ再開されることを願っています。



県政報告(タウンニュース掲載)



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ / 横浜市出身 / サラリーマンを約20年経験 / 参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験 / 麻生区在住

「コロナ禍の学校選択充実のために」
 現在、県議会は第3回校説明会である「全公立定例会」が行われていまして、所属する文教常任委員会において「入学後の生徒と学校のミスマッチを少しでもなくしたい」という思いでコロナ禍における学校説明会等について質疑を行いました。県立学校の説明会について昨年にも引き続き、合同学

現在、県議会は第3回校説明会である「全公立定例会」が行われていまして、所属する文教常任委員会において「入学後の生徒と学校のミスマッチを少しでもなくしたい」という思いでコロナ禍における学校説明会等について質疑を行いました。県立学校の説明会について昨年にも引き続き、合同学
 神奈川県議会議員 石川ひろのり
 「コロナ禍の学校選択充実のために」
 現在、県議会は第3回校説明会である「全公立定例会」が行われていまして、所属する文教常任委員会において「入学後の生徒と学校のミスマッチを少しでもなくしたい」という思いでコロナ禍における学校説明会等について質疑を行いました。県立学校の説明会について昨年にも引き続き、合同学

石川ひろのり 事務所
 麻生区百舌丘1-5-4 米山ビル202
 ☎044-455-6611
 ☎044-455-6614
 石川ひろのり(株)

「コロナ禍の学校選択充実のために」 2021年10月22日号

石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩国哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。

趣味：ジョギング(湘南国際マラソン大会6年連続出場。自己ベスト記録3時間29分28秒) 家族：妻、子供一人
 好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。 石川ひろのり

ボランティアスタッフ募集 石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど 短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動への支援(個人献金)のお願い 石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談ください。ようお願い申し上げます。▶石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへのご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614

ご意見など

お名前	TEL
ご住所	